令和 7 年 4 月 24 日

胸部大動脈瘤ステントグラフト実施基準　左鎖骨下動脈の温存の推奨について

当委員会では、「ゴア TAG 胸部大動脈ブランチ型ステントグラフトシステム（承認番号：30600BZX00248000）」が承認され、臨床使用の開始が見込まれることに伴い、中枢 Zone 2 landing の TEVAR において中枢神経障害を防ぐための左鎖骨下動脈・再建を推奨します。

註）本邦におけるガイドライン（2020 年改訂版　大動脈瘤・大動脈解離診療ガイドライン）において、中枢 Zone 2 landing の TEVAR において中枢神経障害を防ぐための左鎖骨下動脈・再建を考慮する、ことは推奨クラス IIa、エビデンスレベル C となっております。これは本邦の実臨床を考慮したものであります。5 年経過した現在、今後ブランチ型ステントグラフトをはじめとする新規のデバイスが本邦でも使用されるようになることを想定し、欧米のガイドラインに沿って当委員会では“推奨する”と記載とさせていただきます。

それに伴い、胸部大動脈瘤ステントグラフト実施基準が一部変更となりました。
註 8: 中枢 Zone 2 landing の TEVAR において、中枢神経障害を防ぐための左鎖骨下動脈・再建を推奨する。

日本ステントグラフト実施基準管理委員会
委員長　　志水　秀行